



支部だより

第 68 号

編集・発行
〒464-0039
名古屋市千種区日和町2-18
名古屋地方気象台内

日本気象学会中部支部
電話 052-751-5124
2009.06.12

目次

- ・ 2009 年度（平成 21 年度）の始まりにあたって 1
- ・ 2009 年度（平成 21 年度）中部支部総会のお知らせ 2
- ・ 議案(1)：2008 年度（平成 20 年度）中部支部事業報告 2
- ・ 議案(2)：2008 年度（平成 20 年度）中部支部会計報告 3
- ・ 議案(3)：2008 年度（平成 20 年度）中部支部会計監査報告 4
- ・ 議案(4)：2009 年度（平成 21 年度）中部支部事業計画案 5
- ・ 議案(5)：2009 年度（平成 21 年度）中部支部予算案 5
- ・ 中部支部第 18 期役員の補充 6
- ・ 第 15 回公開気象講座のお知らせ 6
- ・ 平成 21 年度支部研究会のお知らせ 7

◆ 2009 年度（平成 21 年度）の始まりにあたって

日本気象学会中部支部長 牧原康隆

昨年、台風の本邦への上陸こそありませんでしたが、平成 20 年 8 月末豪雨に代表されるいわゆる「ゲリラ豪雨」が東海・北陸の各地方を襲い、都市部を中心に洪水・浸水に見舞われました。このような局地的な大雨については、社会からの要請の高まりもあり、観測・解析・予測のそれぞれの面から、さらなる研究が求められております。この大雨に鑑み、東海地方に X バンドのドップラー偏波レーダー網が整備されることになりましたが、あわせて豊富な研究対象になることでしょう。中部支部各会員の研究の更なる発展と情報の共有が期待されるところです。

さて、昨年度、中部支部では「支部研究会」を金沢で開催しました。地元金沢の大学・金沢地方気象台の会員のご支援のもと、東海地方全体から見ると交通の便が必ずしも良くない中、地元はもとより遠方の会員も参加いただくとともに、従来にもましてさまざまな分野からの発表があり、充実した会となりました。12月5日には、長野地方気象台との共催で、「長野県気象研究発表・交流会」を開催しました。長野地方気象台および地元長野の会員が中心となって運営し、支部からは名古屋大学の篠田先生を特別講演の講師として派遣しましたが、約 60 名と多くの方の参加を得ました。

また、10月23日には、かねてからの念願だった中部支部ホームページを開設することができました。現在は活動の報告やイベントの案内等、基本的な項目にとどまっておりますが、

少しずつ充実させていきたいと思っております。ご活用をお願いするとともに、皆様のご意見やご要望等をお待ちいたします。

今年度の中部支部の活動につきましては、先ず活動資金についてご報告しなければなりません。気象学会は、新公益法人制度のもとで 2010 年度に公益社団法人の認定申請を行うことを目標に準備を進めておりますが、その一環として、昨年度末を持って、支部の会計が本部に統合されました。今後予算を伴う支部活動については本部への申請が必要となりますが、従来同様の活動は可能と考えております。おりしも今年は伊勢湾台風が上陸してちょうど 50 年になります。中部支部では 2006 年の秋季大会で伊勢湾台風のシンポジウム「台風 - 伊勢湾台風から 50 年を経て -」を実施しておりますが、東海地方においては、今年防災機関等でさまざまな行事が予定されています。中部支部としても、気象学に関するオーソリティの集まりである立場から台風研究の最前線について一般の理解を深めていくことについて、必要に応じて本部からの支援を仰ぐことも含め、前向きに検討を進める必要があるものと思っております。

今年度も、幅広い会員の皆様の交流と研究・活動が推進されるとともに会員間の連携が深まることを期待しております。今後とも、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

◆ 2009 年度（平成 21 年度）中部支部総会のお知らせ

1. 日時 2009 年（平成 21 年）7 月 24 日（金）16 時 00 分から
 2. 場所 名古屋地方気象台 会議室
 3. 総会次第
 - 1) 開会の辞
 - 2) 支部長挨拶
 - 3) 議長選出
 - 4) 委任状及び出席者報告
 - 5) 議案
 - (1) 2008 年度（平成 20 年度）中部支部事業報告
 - (2) 2008 年度（平成 20 年度）中部支部会計報告
 - (3) 2008 年度（平成 20 年度）中部支部会計監査報告
 - (4) 2009 年度（平成 21 年度）中部支部事業計画案
 - (5) 2009 年度（平成 21 年度）中部支部予算案
- 議案の番号は総会参加票に示された番号です。
議案の詳細は以下に示します。

◆ 議案

議案 (1) 2008 年度（平成 20 年度）中部支部事業報告

- 5 月 8 日 名古屋地方気象台会議室において、中部支部常任理事会を開催いたしました。
- 5 月 20 日 支部だより第 66 号を発行しました。牧原支部長の挨拶、総会のお知らせ、議案、第 17 期役員補充、第 18 期役員選挙のお知らせ、第 14 回公開気象講座の開催予定、支部研究会開催のお知らせなどを掲載いた

しました。

- 5月25日 第18期役員選挙を実施いたしました。
- 7月25日 名古屋地方気象台会議室において、中部支部理事会と中部支部総会を開催いたしました。
- 8月25日 名古屋能楽堂会議室にて、第14回公開気象講座を開催いたしました。テーマは「気象観測のブレークスルー：GPS 掩蔽法」で、講師に津田敏隆氏（京都大学）、村山泰啓氏（情報通信研究機構）と小司禎教氏（気象庁気象研究所）を迎えて、GPS 掩蔽法を用いた最新の大気観測技術とその成果に関する分かりやすい講演を行っていただきました。50名を越える参加者がありました。
- 10月23日 中部支部のウェブサイトの運用を開始しました。
- 11月13日 支部だより第67号を発行しました。2008年度支部総会の報告、第18期役員選挙の報告、中部支部ウェブサイト作成の報告、第14回公開気象講座の報告、平成20年度気象学会中部支部研究会のお知らせとプログラムなどを掲載しました。
- 12月1～2日 金沢市の金沢駅西合同庁舎において、平成20年度気象学会中部支部研究会を開催しました。2日間にわたって22件の講演が行われました。両日ともに50名の参加がありました。
- 12月5日 長野市城山公民館において、長野地方気象台および日本気象学会中部支部の主催、気象予報士会長野支部との共催で「平成20年度長野県気象研究発表・交流会」を開催しました。参加者は62名（発表者を含む）でした。日本気象学会中部支部から名古屋大学 篠田太郎氏を特別講演講師として派遣しました。

議案(2) 2008年度(平成20年度)中部支部会計報告

収入の部

単位：円

科目	平成20年度予算	平成20年度決算	差	備考
前年度繰越金	3,384,566	3,384,566	0	
交付金	587,600	597,200	-9,600	注1
公開気象講座補助金	100,000	100,000	0	注2
公開気象講座受講料見込み	50,000	31,960	18,040	注3
利息	6,000	5,201	799	
その他	0	0	0	
合計	4,128,166	4,118,927	9,239	

支出の部

単位：円

科目	平成20年度予算	平成20年度決算	差	備考
事業費	590,000	844,142	-254,142	

内 訳	支部だより印刷				
	総会用はがき印刷	60,000	44,439	15,561	
	支部研究会要旨集印刷	200,000	198,450	1,550	
	支部研究会旅費	200,000	367,560	-167,560	注4
	選挙投票用紙印刷	30,000	4,180	25,820	
	発送費・労務費	100,000	175,204	-75,204	
	その他	0	54,259	-54,259	注5
会議費	3,000	5,100	-2,100		
会議旅費	40,000	38,060	1,940		
公開気象講座	400,000	404,718	-4,718	注6	
通信費	250,000	94,238	155,762	注7	
消耗品費	10,000	9,653	347		
設備費	400,000	359,290	40,710	注8	
予備費	2,435,166	2,363,776	71,390	注9	
合計	4,128,166	4,118,927	9,239		

注1：本部からの支部活動費としての交付金

予算：会員数割@1,200×323=387,600円と均等割200,000円の和で計上

決算：会員数割@1,200×331=397,200円と均等割200,000円の和で計上

注2：本部からの夏期大学講座としての補助金

注3：公開気象講座受講料

今年度：テキスト41冊（郵送代込み）、過去のテキスト37冊

注4：支部研究会の開催が金沢市だったことで予算をかなりオーバーした

注5：天気第55巻5号のカラーページ代

注6：気象の普及活動を積極的に進めていくため増額計上

注7：ホームページを立ち上げるため、初期費用とその後の通信費用として計上

注8：ホームページを立ち上げるための初期設備費（パソコン等）として計上

注9：予備費の2,363,776円（手数料840円を含む）は、すべて本部に振り込み。


議案(3) 2008年度（平成20年度）中部支部会計監査報告

2008年度中部支部会計報告について、多々良会計監査より適正に処理されている旨の報告がありました。

会計監査を行った結果適法に処理されていることを認めます。

平成21年3月30日

会計監査員 多々良秀世



議案(4) 2009年度(平成21年度)中部支部事業計画案

- 5月12日 名古屋地方気象台小会議室において、常任理事会が開催されました。
- 6月12日 支部だより第68号(本号)を発行いたします。
- 7月24日 名古屋地方気象台会議室において、中部支部理事会と中部支部総会を開催いたします。
- 8月25日 第15回公開気象講座を開催いたします。
- 11月 支部だより第69号を発行いたします。中部支部総会の報告、公開気象講座の報告と支部研究会の開催案内、プログラム等を掲載する予定です。
- 12月 平成21年度支部研究会を開催いたします。

議案(5) 2009年度(平成21年度)中部支部予算案

収入の部

単位：円

科 目	平成21年度予算	平成20年度決算	差	備 考
前年度繰越金	0	0	0	注1
交 付 金	746,000	597,200	148,800	注2
公開気象講座補助金	100,000	100,000	0	注3
公開気象講座受講料見込み	50,000	31,960	18,040	注4
利 息	400	5,201	799	
そ の 他	0	0	0	
合 計	902,000	734,361	167,639	

支出の部

単位：円

科 目	平成21年度予算	平成20年度決算	差	備 考	
事 業 費	59,000	844,142	-254,142		
内 訳	支部だより印刷 総会用はがき印刷	60,000	44,439	15,561	
	支部研究会要旨集印刷	200,000	198,450	1,550	
	支部研究会旅費	200,000	367,560	-167,560	
	選挙投票用紙印刷	0	4,180	-4,180	注5
	発送費・労務費	100,000	175,204	-75,204	
	そ の 他	0	54,259	-54,259	注6
会 議 費	3,000	5,100	-2,100		
会 議 旅 費	40,000	38,060	1,940		
公 開 気 象 講 座	100,000	404,718	-304,718	注7	
通 信 費	100,000	94,233	5,762	注8	
消 耗 品 費	10,000	9,653	347		
設 備 費	0	359,290	-359,290		

予備費	89,000	0	0
合計	902,000	1,755,146	-853,146

注1：21年度から前年度の予備費は本部へ振り込むこととなった。20年度予備費2,363,776円は本部に振込み済み。

注2：本部からの支部活動費としての交付金

会員数割@1,200×330=396,000円と一律分350,000円の和で計上

注3：本部からの夏期大学講座としての補助金

注4：公開気象講座受講料（昨年における収入実績から）

注5：平成20年度は役員改選が実施されたため計上

注6：天気第55巻5号のカラーページ代

注7：気象の普及活動を積極的に進めていくため増額計上

注8：ホームページの維持・通信費用として計上

◆ 中部支部第18期役員の新補充

平成21年（2009年）4月1日付けの人事異動により、三田昭吉理事（東海地区）が地区から転出し役員を失格しました。このため日本気象学会中部支部選挙細則第4条の規定に従い、東海地区理事の後任として阪本孝廣会員を第18期理事（任期はいずれも2010年6月30日まで）に委嘱しました。

	新	旧
東海地区理事	阪本孝廣（津地方気象台）	三田昭吉（名古屋地方気象台）

また、海老沢次雄幹事が2009年4月1日付の人事異動により転出したため、伊藤晴夫会員が幹事として就任しました。

	新	旧
幹事	伊藤晴夫（名古屋地方気象台）	海老沢次雄（名古屋地方気象台）

◆ 第15回公開気象講座のお知らせ

公開気象講座は、夏期大学を含めて今年で15回目を迎えます。一般の方々の関心も高く、毎年多くの方の参加をいただいております。今年は伊勢湾台風から50年ということもあり、「台風研究の最前線」というテーマを取り上げます。第11回と同じテーマですが、今回はこれまでには取り上げていない、台風発生に関する最新の観測事実、台風発達に関する詳細な数値シミュレーション結果、最新の台風予報に関する内容を取り上げ、8月25日午後開催する予定です。詳細が決まり次第、会員の皆様への開催案内の配布などを通じて、お知らせしていく予定です。

◆ 平成21年度支部研究会のお知らせ

最近の気象学会全国大会では、講演数の増加にともなって、発表時間を十分に取ること

ができなくなってきております。支部研究会では、各講演の発表時間をできるだけ長く取ることによって、会員のみなさまの間で深い議論を行うとともに、会員のみなさまの間での情報交換を行っていただいております。今年度は 12 月に開催する予定です。現時点での開催場所は三重県を予定しています。具体的な日程や講演の募集などは、8 月頃にお知らせしたいと考えております。

◆ 支部だより等の電子メールでの発送について

会員の皆様の電子メールの普及に伴いまして、支部だよりや公開講座のお知らせ等の電子メールによる配送を開始いたします。電子メールでの配送をご希望の方は、お名前と配送を希望する電子メールのアドレスを kanji@msj-chubu.jp までお知らせ下さい。電子メールでの配送をご希望の方には、基本的に紙媒体での配送を停止させていただきます。また、中部支部のウェブサイトでは、各種お知らせの電子版を入手することができますので合わせてご利用ください。

企画などの問合せ先

〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学地球水循環研究センター
藤波初木

電話：052-789-3474

FAX：052-789-3436

E-mail：hatsuki@hyarc.nagoya-u.ac.jp

